

Stage5

Flying High

高く飛ぶ

作・ジーナ・ナットール

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
- ・このお話にはだれが出てくるでしょう。
- ・このお話にでてくるひとたちの話を、まえにも読んだことがあるでしょうか。
- ・お話にでてくるひとたちについて、どんなことを知っていますか。

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう:

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

dragonfly トンボ

micro-copter マイクロコプター

shadow かげ

insect 昆虫

scared おびえた

suddenly 突然

[p. 1]

高く飛ぶ

作・ジーナ・ナットール

絵・ジョン・スチュアート

[p. 2]

お話にでてくるひと

キャット

タイガー

マイクロコプター

トンボ

[p. 3]

キャットとタイガーは隠れ家の外にいました。

ふたりはボタンを押して……

[p. 4]

タイガーは飛びたいと思いました。
タイガーはマックスのマイクロコプターを取りだしました。
タイガーはベルトを締めました。

[p. 5]

「マイクロコプターがふたつあったらよかったのに」、キャットが言いました。

[p. 6]

そのとき、ふたりは暗いかげを見ました。
ふたりが見あげると、大きな昆虫が見えました。

[p. 7]

昆虫はすぐ近くに着地しました。
「見て！」、キャットが言いました。「トンボよ」
キャットに、ある考えが浮かびました……。
「見て！」

[p. 8]

キャットはトンボの背中に乗りました。
「競争できるわ」、キャットが言いました。
「池のむこう側まで競争よ！」

[p. 9]

「かっこいい！」、タイガーが言いました。「さあ行くぞ！」
タイガーはマイクロコプターで飛びたちました。
つづいてキャットとトンボが離陸しました。

[p. 10]

キャットとタイガーは池を横切って競争しました。

[p. 11]

タイガーは、マイクロコプターで上昇したり下降したりしてブンブン飛びました。
キャットは、トンボに乗ってジグザグに飛びました。
キャットが先頭でした。

[p. 12]

そのとき、キャットはハチを見ました。
「大変！」、キャットがさげびました。
トンボはハチからジグザグに飛んで逃げました。キャットはトンボにしがみつきました。

[p. 13]

こんどはタイガーが鳥を見ました。

タイガーは急上昇してかわしました。
「どうしよう!」、キヤットがさげびました。
「鳥はトンボを食べるわ」

[p. 14]

トンボはジグザグに飛んで鳥から逃がれました。トンボはどンドン下降して、池の向こう側に着地しました。キヤットはトンボの背中から飛びおりました。

[p. 15]

タイガーがすぐ近くに着地しました。
「大丈夫かい、キヤット?」、タイガーが言いました。
「ええ」、キヤットが言いました。「勝ったわ!」
「うん、そうだね」、タイガーが言いました。「競争して戻る?」

[p. 16]

トンボの知識

- ・トンボは、前にもうしろにも横にも飛ぶことができます。
- ・トンボは昆虫の中ではいちばん速く飛びます。
- ・トンボは、4枚のはねをもっています。

大きな目

4枚のはね

長い腹部

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう:

- ・なぜキヤットはタイガーと競争したかったのだと思う?
- ・キヤットはどんな人だと思う? キヤットのことをどんなふうに表示する?
- ・この本を読んでおもしろかったところはどこ?
- ・この本を読んでどう思った?

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。お子さんに想像力をはたらかせるようにすすめてください! お子さんは、もしマイクロサイズになったら、どんな冒険をするでしょう?